

2016年度

小論文B

(問題)

<H28109281>

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～3ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて解答用紙の所定欄に、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に丁寧に記入すること（左記記入例参照）。所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に記入すること。
5. 受験番号の記入にあたっては、左記（数字見本）にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。読みづらい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意すること。

(記入例)
58001



万	千	百	十	一
5	8	0	0	1

(数字見本)

0	1	2	3	4
5	6	7	8	9

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも解答用紙は必ず提出すること。
9. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

小論文作成上の注意

1. 句読点、記号等、および改行のために生じる余白もすべて字数に含む。また、解答用紙の字数を超えて解答してはいけない。（句読点、記号等は、必ず独立した二マスを使用する。）
2. 本文中に自分の氏名を書かないこと。
3. 下書きは、別に配付の下書き用紙を使用すること。試験終了後、下書き用紙は持ち帰ること。

左の文章を読んで、設問に答えなさい。

大衆社会とは何かと考えれば、まずは階級が崩壊するということです。十九世紀ヨーロッパの階級社会が崩壊していく。では、階級が崩壊するとはいったいどういうことなのか。ここにはいくつかの問題があります。

階級が崩壊することによって、政治の面では政党政治がうまく機能しなくなる。もともとヨーロッパの政治は貴族階級が没落したのち、貴族層と手を結んだ資本家ブルジョア階級と労働者階級との間の階級対立から成っていた。むろん、その中間にはかなり広範な中間階級や各種の専門家層が出てきますが、大きくいえば、富をもった階級と富をもたない階級から構成されています。

ヨーロッパの政党政治は階級関係を前提とし、二つの階級を代表するかたちで政党が成立したわけです。それぞれの階級の出身者は自分の階級に近い政党を支持し、政党は階級の利益を代弁し、それを政治的に表現する。そこに、自分たちの政治的代表という観念が成立したのであって、代表を通じて自己の政治的主張や利益の実現を図る代議制も機能したわけですね。

ところが十九世紀末にもなると、資本家階級、労働者階級という明瞭な区別はつかなくなります。専門職の増大、それに大企業の登場などにより、企業に雇われた、事務的作業に従事する被雇用者から成る中間階級が拡大してくるのです。さらに、貴族階級の没落は決定的となり、しかも第一次大戦をきっかけにして西欧の資本家層も大きな打撃を受ける。つまり、西欧社会の基本的な安定性を担保してきた貴族・ブルジョア階級という支配層そのものが弱体化していきます。こうして、明快な階級関係が崩れてくる。ここに大衆社会への移行が始まるわけです。

階級が崩れてくると、政党政治がうまく機能しなくなってくる。政党政治が機能しなくなると、自分の政治的主張や利益を代弁し、それを政治に表現する代表者に信頼が置けなくなるでしょう。そもそも自分の階級的利益というもののさえ定義しにくくなる。つまり、この意味での自己の社会的（階級的）アイデンティティもはつきりとしなくなってきました。

もう少しおおげさにいえば、この世界に、自己がたしかに安らげると感じる場所がなくなってくる。ハイデガーの言葉を使えば「故郷喪失」です。あるいは、人が場所や大地から切り離されてゆく。

確かな場所から切り離されたと感じる人々が、確かなものの代用として、他人の意見や生活を真似し合い、他人に同調することで安心を得ようとする。これがハイデガーのいう「公共性」なのです。ただ他人とおしゃべりをし、流行を追い、新しいものに好奇心を向け、同時にまた世論に同調して、それで自己を表現できたと思ってしまうわけです。日常のなかに頹落（たいらく）するわけですね。

アレントの言葉を使うと、これは「根無し草」で、自分の存在の根をもたない、存在の場所をもたない。故郷喪失なのですが、これは象徴的な意味だけではなく、文字どおりの意味でもそうなのです。近代化、産業化のなかで農村社会が崩壊し、都市化する。大都市が出現する。こうして、大量の故郷喪失者が職を求めて大都市へ集まってくる。この根無し草的存在、あるいは故郷喪失者は、表面的に故郷を失うにとどまらず、もう少し本質的な意味をもっていて、自分たちの人生を形づくるある安定した価値観、これまで当然視してきた価値観を見失ってしまうわけです。世俗的な目的だけではなく、宗教的精神も確信を伴ってはもたない。そういう意味でアイデンティティを失ってしまう。

宗教的な信条や人生で実現したいことがわからなくなってしまっていると、政治的な要求や代表させるべき利益もよくわからなくなるでしょう。故郷喪失とは、生活のなかの些細なことに意味を与え、さまざまな行為の意義を確認できた地域共同体、たとえば教会とか学校を中心とする地域コミュニティ——これはヨーロッパの場合にはまだいまでも残っています。十九世紀に比べると、はるかに弱体化してゆくわけです。

こうして、地域の共同体や教会といった伝統的コミュニティから切り離され、家族やよく見知った知人や親戚などから離れてしまい、共同体の慣習に従っていれば当然と思われてきた価値からも切り離されたと感じる人々が大量に出現してきます。そういう意味での故郷喪失感を底流に置き、アイデンティティの喪失感をもった孤立した大衆が出てくるわけですね。数の上では群れているものの、個人としてはバラバラになっているたマス（大衆）、それが大衆社会です。

だから大衆社会とは、ただ同質の人がたくさん群れているだけではなく、彼らが、その存在の確かな基盤を失い、相互の有機的なつながりをもたない社会なのです。宗教、教会、地域社会、階級、政党といったものを媒介にしては、人がもう結びつかないのです。

（佐伯啓思『20世紀とは何だったのか』PHP文庫）

〔設問〕

（一）ここという大衆社会論は、ファシズム論のなかで語られる場合が少なくない。ここでの大衆社会とファシズム（「全体主義」と訳される場合もある）は、どのような論理で結合されるのかを、二百字以上、三百字以内で述べなさい。

（二）「故郷喪失」や「公共性」をキー・ワードとして社会の特徴を分析・析出してみせる、ここでの大衆社会論の描く状況が進行してゆく場合、あなた自身は、それいかに向かいあうべきであるのかを、三百字以上、四百字以内で述べなさい。

〔以下余白〕

受験 番号	万	千	百	十	一
姓氏名					
氏名					

(二) 小論文解答用紙は汚したり、折りまげたり、破つたりしないこと。

[illegible][illegible]

(ここより左側には何も書かないこと)

400

300

200